

長妻大臣閣議後記者会見概要

(H22.3.12(金) 08:43 ~ 08:52 ぶら下がり)

【広報室】

《閣議等について》

(大臣)

閣議と閣僚懇談会を終えてこちらに参りました。今日閣議決定の法律としては、厚生労働省として予防接種法の改正案ということを経済閣議決定を致しました。私からは以上です。大変恐縮であります。9時から委員会がありますのでよろしくお願ひします。

《質疑》

(記者)

今日見送られた派遣法についてですが、社民党が事前面接の反対を主張していますが、大臣自身のこの件に関するお考えをお願いします。

(大臣)

これについても色々なレベルで社民党と交渉し、私も福島党首とお会いをしまして御理解をいただくようお話し申し上げていたのですが、その案件が仲々合意ができず、今日は閣議決定はされませんでした。引き続き色々とお話しをしていくということになると思います。

(記者)

派遣法についてですが、社民党が求めている事前面接についての規定を削除するとか、変更するとかいう可能性を大臣はどのようにお考えでしょうか。

(大臣)

これについては、ずっと交渉の労使のかなり激しいやり取りの中で、一つ一つ積み上げて「この部分はこうするから、こっちの部分を引いてくれ」という形で合意がなされて来ました。その経緯も十分説明をして、御理解をいただくような努力を続けて行くということです。

(記者)

大臣としては社民党の福島さんの要求は受け入れられないというお考えでしょうか。

(大臣)

今の時点では私としては、従来の説明に加えてさらに労使のどういう経緯、プロセスで激しい議論があってコンセンサスが得られたのかということ、再度丁寧に説明して行くということです。

(記者)

事前面接の解禁は、派遣法の根幹を揺るがすものだという指摘が出ているのですが、大臣御自身は事前面接を解禁しても問題はないとお考えでしょうか。

(大臣)

御存知のように事前面接は従来と異なりまして、無期雇用の方を対象にということですので、そこで何か雇用が損なわれることがないということです。当然、そういう法律が施行されれば実効性を伴うように、現実と法律が乖離することではいけませんので、それをきちんと実現して行くということです。無期雇用が前提の話と聞いておりますので、それについては何とか御理解をいただくように説明を続けて行きたいと思っております。

(記者)

会期もありますので成立を考えると急ぐべきかとも思いますが、いつまでに閣議決定されるのでしょうか。

(大臣)

なるべく早くということです。